



眼科 診療体制について

眼科医不足のため、5月より眼科の診療体制を縮小するなど、地域の皆さまにはご迷惑をお掛けしております。

診療体制の立て直しに全力で取り組んでおりますが、現時点では現行の体制を変更せざるを得ない状況です。

眼科受診を希望される方は、まずは他の医療機関の受診をご検討ください。また、現在おかけの患者さまについても、病状の安定している方は近隣医療機関をご案内させていただく場合がございます。

12月からはこれまでの主治医制から、眼科医師がチームで診る「チーム制」に外来診療を変更いたします。医師の指名受診ができなくなるほか、定期受診をされている方も主治医以外の医師が診察を担当する場合があります。電子カルテで診療情報を共有しながら対応いたしますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

7・8月は顎変形症治療センター長で睡眠外科担当の外木守雄^{とのぎ}歯科医師が「いびき」をテーマに、その原因や治療法をご紹介します。ぜひお聴きください。



7月より タリーズコーヒー
日曜・祝日 営業再開
※日曜・祝日 7月2日から再開
9:00~16:00
※平日 7月3日から1時間延長
7:30~18:00

8月も実施 新型コロナワクチン追加接種

接種希望の問い合わせが多数寄せられたことを受け、65歳以上等を対象とした「新型コロナワクチン追加接種」(オミクロン株対応2価ワクチン接種)を8月も実施することにいたしました。

接種は完全予約制です。7月1日(土)よりWEB予約を開始いたします。ご希望の方は、亀田クリニックホームページからお申込みください。

※電話の予約対応はいたしません。

日程
・8月4日(金)
・8月18日(金)
14:00~(定員176人/日)



お願い 障がい者等用駐車区画



車いすマークのある駐車場を優先的に利用できる「障がい者等用駐車区画利用証」をご存知ですか？

障がいのある方や要介護者、難病患者、妊産婦、けが人など歩行が困難と認められる人が同区画を適正利用できるよう、県や自治体が利用証を交付しています。

当院では亀田クリニックに隣接する駐車場(パーキング棟1階・2階、第一来院者駐車場)、Kタワー前などに専用駐車区画を設けています。利用を希望される方は、駐車場スタッフがスムーズに駐車誘導できるよう、車いすマークや障がい者区画利用証を車外に見えるよう掲示にご協力をお願いいたします。

※利用者が集中する時間帯や満車時はご家族・知人の運転する車両で来院された方は、正面玄関で先に降車いただき、車両は一般駐車スペースをご案内する場合があります。



最終話 保存的腎臓療法

皆様、こんにちは。腎臓高血圧内科の診療看護師の正木励次と申します。診療看護師はあまり聞き慣れない職種かと思いますが、看護系団体の認定資格で、より医学的な側面から診療の補助を行う看護師と認識していただければと思います。今回は保存的腎臓療法 (conservative kidney management:CKM) についてお話しします。

腎代替療法を行わない選択肢とは？

これまでの連載でもお伝えしてきましたが、慢性腎臓病はゆっくりと進行し、末期の状態となると腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)が必要となる病気です。当院ではいずれの腎代替療法にも対応しており、治療法の選択をお手伝いする「腎代替療法選択外来」も行っています。

さて、今回のテーマである「保存的腎臓療法」ですが、わかりやすく言うと“透析などの腎代替療法を行わない選択肢”のことです。腎代替療法を行わないということは、生命の維持ができなくなることを意味します。透析や腎移植といった治療法があるのにそれを行わないとはどういうことなのでしょう？

腎代替療法は腎臓の機能を代替する優れた治療法ですが、それぞれの腎代替療法を行うためには次の条件をクリアする必要があります。

これらの条件が満たせず、腎代替療法を“行うことが難しい場合”、あるいは“行わない方がよいと考えられる場合”に保存的腎臓療法を検討します。

腎代替療法を行うための条件	
血液透析	・血圧など循環の状態が安定している ・週3回透析施設に通える(病院に通えない場合は透析を行う病院への入院が必要)
腹膜透析	・自分自身、あるいはご家族の助けで透析を行うことができる
腎移植	・手術に耐えられる体の状態である ・免疫抑制薬の内服ができる ・生体腎移植では提供者(ドナー)が必要 ・献腎移植では長期間の待機日数が必要

症状の緩和に主体をおいた治療

保存的腎臓療法は、主に高齢の患者さまで検討することが多くなります。**他の病気などで全身状態が良好でない場合や、重度の認知症の場合、寝たきりに近い状態の場合などは、透析を行うこと自体が難しく、がんばって行ったとしてもそれ自体がご本人の負担となってしまう**ことも考えられます。そのような場合、無理をして透析を行うのではなく、症状の緩和に主体をおいた医療を提供することになります。これを「保存的腎臓療法」と呼んでいます。具体的には、腎不全で生じる高血圧、吐き気、呼吸困難、むくみ、かゆみなどの症状に対し、お薬で対応することになります。時には苦痛軽減のため鎮静剤を使うこともあります。

近年の高齢化に伴い、保存的腎臓療法は注目されてきています。しかしながら、その選択には十分な話し合いが必要です。ご本人が判断できる場合でも、ご家族の意見は重要となります。そのため私たち医療従事者も、判断に必要な情報提供をしっかり行う責任があります。



次回より、臨床遺伝科の新連載がスタートします。お楽しみに。

Kameda Cup 2023 in Kamogawa

7月16日(日)、医療従事者のためのサーフィン大会を東条海岸マルキポイントで開催いたします。

朝5時半から行われるサーフィン競技に加え、午前10時からはダンスやバンド演奏などのステージイベントや、

ビーチスポーツイベントなども開催。地元飲食店などによる模擬店も多数出店予定です。詳細はKameda Cupホームページをご覧ください。



大会会場そばの駐車場はイベント関係車両専用となります。ご来場の際はロイヤル駐車場をご利用ください。会場までは送迎車が巡回します。